

美容皮膚科医に聞く！ キレイの最前線

「しみが気になるのです。高齡になつてきました。活動の幅は広がり、若いファンデーションの幅は広がり、若のりが悪くて」。…
私クリニックには、お続けたいと思つ人は増えて肌についての相談にこれらおり、美容皮膚科の役割もる人がいます。大半は女性大きくなつてゐるのではなですが、男性もあり、営業職いかと考へます。
や人に会う機会が多い職業 美容皮膚科では、皮膚やの方が多く印象を受けます。美容に関する専門知識を持つ現在、見た目の印象は、つ医師が、皮膚科学をベースとしたアンチエイジングその人の存在を表す上で重スとしたアンチエイジング重要な要素を占めるようにな治療・施術を行います。医

肌改善からダイエットまで

専門知識に基づき治療

①



むかいだ・くみこ 1969年生まれ。藤島高を経て三重大学医学部卒。病院勤務後、京都大学医学部大学院で学び、2007年に博士号修得。08年に京都市内にアレルギー科、15年に美容皮膚科を開業。医療法人司美会くみクリニック理事長。アレルギー学会認定専門医、東洋医学会認定専門医、麻酔学会認定医。



美容皮膚科クリニックの内部＝京都市

療機関専用の機械や医薬品を使い、例えばしみを薄くする際には、レーザーやぬり薬を用いて原因となるメラニンを少なくします。

性疾患や感染症などによるものを除くと病気ではありません。病気ではないけれど、その人にとって不都合な皮膚の状態を改善する治療には健康保険は使えません。皮膚の疾患であるニキビの治療には保険がききませんが、治療後に痕になってしまった場合など、美容皮膚科でレーザー治療やピーリング施術を受けるのは自己になります。

「じゃあ、しみをとるのにいくらかかるの?」と思われますよね。しみの種類によって治療法や期間が変わつてゐるので一言では言えませんが、5、6角のしみへの照射で1万円程度です。

このコラムではこれから、美容についてのさまざまな知識や情報、治療を詳しくお話しします。お気軽におつきあいください。よろしくお願ひします。(美容皮膚科医・向田公美子 京都市在住)

＝隔週で掲載します。